

市政記者各位

Press Release No.2

令和5年7月18日



2023年(第33回)福岡アジア文化賞

FUKUOKA PRIZE 2023

公式行事・取材募集のお知らせ

イベント参加申込受付を開始します！

今年の福岡アジア文化賞は、オンラインも活用して、下記の通り開催します。

芸術・文化賞受賞者の張^{チャン}律^{リュル}氏の市民フォーラムでは、福岡で撮影を行った映画『福岡』の上映もお楽しみいただけます。いずれも無料で参加・視聴できますので、市民の皆様へ周知をお願いいたします。

また、受賞者への個別取材も募集します。希望される場合は、下記までご連絡ください。

行 事		会場／実施形式等	日 時	申込締切
授賞式		【会場参加】 福岡国際会議場	9月12日(火) 18:15～19:45	8月15日(火)
		【アーカイブ配信】	*授賞式終了後、1ヵ月間	申込不要
市民 フ ォ ー ラ ム	大賞 トンチャイ・ ウィニッチャクン氏	【会場参加】 アクロス福岡	9月15日(金) 18:30～20:30	8月31日(木)
	学術研究賞 カターリヤ・ウム氏	【会場参加】 アクロス福岡	9月14日(木) 18:30～20:30	
	芸術・文化賞 張 ^{チャン} 律 ^{リュル} 氏	【会場参加】 中洲大洋映画劇場	9月13日(水) 18:30～21:30	
	【アーカイブ配信】	* 3賞共通	10月2日(月)～ 10月31日(火)	9月16日(土)

各行事の内容詳細と申込方法は、添付のチラシをご覧ください。

(福岡アジア文化賞 HP からもお申し込みいただけます。)

【問い合わせ先】 総務企画局国際部アジア連携課 (福岡アジア文化賞委員会事務局)
 担当：長岡、円城寺 Tel：092-711-4930 Fax：092-735-4130
 メール：f.prize@io.ocn.ne.jp
 福岡アジア文化賞 URL <https://fukuoka-prize.org/>

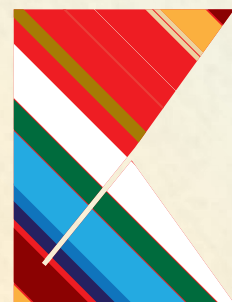
Thongchai

WINICHAKUL

福岡アジア文化賞



第33回



大賞

トンチャイ・
ウニッチャクン

Thongchai WINICHAKUL
(歴史学者)



©Anuchit Nimalung / WAY (Thailand)



Khatharya UM

学術研究賞

カターリヤ・ウム

Khatharya UM
(政治学者・東南アジア研究者)



芸術・文化賞

チャン・リュル

張律

ZHANG Lu
(映画監督)



ZHANG Lu



アジア文化への貢献をたたえる「福岡アジア文化賞」。
今年の授賞式は会場参加を受け付けますので、
ぜひお申込みください。また、アーカイブ配信を行います
(申込不要)。アジアの多彩な文化に触れられる
貴重な機会です。ご期待ください！

授賞式 9.12 (火)

福岡国際会議場 メインホール 18:15~19:45

会場参加申込の受付

7.3(月)から
8.15(火)
まで



▲こちらの
二次元コードから
お申し込みください

同時通訳

参加無料

※授賞式終了後、1か月間
アーカイブ映像を公開します。

授賞式 **9.12** (火)

福岡国際会議場 メインホール 18:15~19:45

会場参加申込 **7.3**(月)から**8.15**(火)まで

参加無料 **同時通訳**



こちらの二次元コードから
お申し込みください

※授賞式終了後、1か月間
アーカイブ映像を公開します。



大賞

トンチャイ・
ウニツチャクン

Thongchai WINICHAKUL
(歴史学者)

歴史学者のトンチャイ・ウニツチャクン氏は、地図の作成と利用のされ方に着目し、近代的な国家と国民がいかに確かな実態として人々の心の中に入り込み、存在するようになったのかを研究し、世界の人文・社会科学に大きな影響を与えた。タイの学生や市民の政治意識や活動を支え導き、大学と社会をつなぎ民主主義と市民社会を発展させるため貢献し続けている。

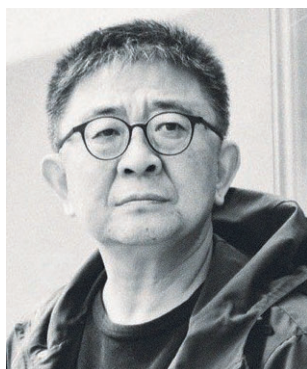


学術研究賞

カターリヤ・ウム

Khatharya UM
(政治学者・東南アジア研究者)

カターリヤ・ウム氏は、政治学と東南アジア研究の秀逸な研究者であり、次世代の育成に力を注ぐ国際的な教育者でもある。平和で公正な世界の実現のため、祖国カンボジアの悲劇の歴史を掘り下げつつ、移民や難民の人々の苦境に光を当てた鋭い分析で新たな研究領域を開拓し、国境を越えた市民の絆の構築に尽力している。



芸術・文化賞

チャン・リュル
張 律

ZHANG Lu
(映画監督)

張律氏は21世紀の東アジアを代表する映画監督である。アジア各国のスタッフ・キャストと協働しながら中国・韓国・日本の地方都市を舞台に据えて、その作品世界においても異文化の融和や共生のビジョンを表現しており、国籍・国境を越えた「東アジア映画」と呼ぶべき独創的な作品を創り続けている。

市民フォーラム

各賞の受賞者による市民フォーラムを開催いたします。

日時や会場、申込方法などの詳細については、福岡アジア文化賞公式ホームページをご覧ください。

通訳あり **参加無料**
アーカイブ配信あり

◎トンチャイ・ウニツチャクン氏
9.15 18:30~20:30
(金) アクロス福岡

◎カターリヤ・ウム氏
9.14 18:30~20:30
(木) アクロス福岡

◎張 律(チャン・リュル)氏
9.13 18:30~21:30
(水) 中洲大洋映画劇場

メールマガジン

「アジアの風だより」

福岡アジア文化賞のイベントや受賞者に関する最新情報をお届けしています。

ぜひご登録ください。(無料)



▲こちらの
二次元コードから
ご登録ください

第33回

FUKUOKA PRIZE 2023

福岡アジア文化賞

市民フォーラム

より良い未来のための歴史研究の旅路
—大学と社会をつなぐ



大賞

トンチャイ・
ウニツチャクン

Thongchai WINICHAKUL
(歴史学者)

©Anuchit Nimalung / WAY (Thailand)

2023.9.15 (金)

18:30-20:30

アクロス福岡 4F国際会議場

参加無料(要申込) **通訳あり** アーカイブ配信あり

市民フォーラム

通訳あり

参加無料

(要申込)

アーカイブ配信あり

2023.9.15 (金) 18:30-20:30
アクロス福岡 4F国際会議場

より良い未来のための歴史研究の旅路 —大学と社会をつなぐ

大学は多くの人々の生活から離れた考えや実践的ではない知識の場である、としばしば思われてきました。しかし、実際には市民の政治的・社会的な街中での行動も、大学と関わりを持ちます。トンチャイ氏は研究者としてアメリカの大学で過ごす間も、タイの街頭で民主主義と社会正義を願い求める人々の闘いから心が離れることはなかったと言います。

望ましい未来は過去を新たに読み直すことによって拓かれることを、講演と対談形式で語ります。

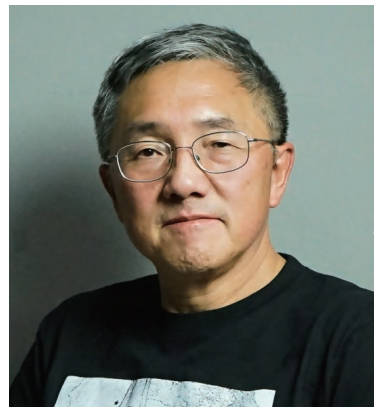
大賞

トンチャイ・ウニッチャクン

Thongchai WINICHAKUL
(歴史学者)

民主主義と市民社会の発展に貢献し、知識人の範となる歴史学者

地図の作成と利用のされ方に着目し、近代的な国家と国民がいかに確かな実態として人々の心の中に入り込み、存在するようになったのかを研究し、世界の人文・社会科学に大きな影響を与えた。代表作は『地図がつくったタイ：国民国家誕生の歴史』。タイの学生や市民の政治意識や活動を支え導き、民主主義と市民社会を発展させるため貢献し続けている。



対談者／小泉 順子

京都大学
東南アジア地域研究研究所教授

専門はタイ近代史。主な著作に『歴史叙述とナショナリズム』、『歴史の生成』(編著)、『世界歴史大系 タイ史』(共編著)など。Siam Mappedの和訳版(石井米雄訳『地図がつくったタイ』)作成に協力したこともあり、かねてよりトンチャイ氏の研究にはさまざまに触発されている。



コーディネーター／清水 展

関西大学政策創造学部客員教授
福岡アジア文化賞学術研究賞選考委員会委員

専門は、文化人類学、東南アジア研究。主な著書に『文化のなかの政治—フィリピン“二月革命”の物語』、『噴火のこたまり—ピナトッポ・アエタの被災と新生をめぐる文化・開発・NGO』、『草の根グローバルバージョン—世界遺産棚田村の文化実践と生活戦略』など。



福岡アジア文化賞

アジア地域の優れた文化の振興と相互理解及び平和に貢献するため、1990年に、福岡市及び(公財)福岡よかトピア国際交流財団が創設。アジアの固有かつ多様な文化の保存と創造に顕著な業績を上げた方々を顕彰している。これまでの受賞者は121名を数え、今なお世界中で活躍を続けている。

会場参加・アーカイブ配信

7.18 (火) から受付開始!

申込締切

会場参加: 8.31 (木)

※定員を超えて申込があった場合は抽選となります。

アーカイブ配信: 9.16 (土)

▼お申込みは
コチラ



第33回

FUKUOKA PRIZE 2023

福岡アジア文化賞 市民フォーラム

ひとりの力と大勢の仲間の強さを求めて
— 難民の旅から研究者の旅へ

学術研究賞

カタリーヤ・ウム

Khatharya UM

(政治学者・東南アジア研究者)

Khatharya UM

2023.9.14(木)

18:30-20:30

アクロス福岡 4F国際会議場

参加無料 (要申込) **通訳あり** アーカイブ配信あり

市民フォーラム

通訳あり

参加無料

(要申込)

アーカイブ配信あり

2023.9.14 (木) 18:30~20:30
アクロス福岡 4F国際会議場

ひとりの力と大勢の仲間の強さを求めて —難民の旅から研究者の旅へ—

内戦下のカンボジアを逃れ、両親とともに米国に移住し、時代の波に翻弄されながらも、母国の歴史や移民・難民の研究に身を捧げてきたカタリヤ・ウム氏。これまでの人生を振り返りつつ、いかなるときにも未来への道筋を氏に指し示してくれたという、正義・共生・平和を叶える世界への真摯な願いについて、熱く語っていただきます。

学術研究賞

カタリヤ・ウム

Khatharya UM
(政治学者・東南アジア研究者)

移民や難民の人々の苦境に光を当て、現代世界の課題に挑む政治学者

自らの経験を踏まえ祖国カンボジアの悲劇の歴史を掘り下げつつ、移民や難民の人々の苦境に光を当てた鋭い分析で、グローバル研究の新たな領域を開拓。平和で公正な世界の実現を目指して国際共同研究に邁進するとともに、学問の自由と発展を促す教育のために世界各地で教鞭を執ることで次世代の育成にも献身し、国境を越えた市民の絆の構築に尽力している。



対談者／田村 慶子

北九州市立大学名誉教授・特別研究員
NPO法人国境地域研究センター理事長
福岡アジア文化賞学術研究賞選考委員会委員長

専門は、国際関係論、東南アジア地域研究。アジア政経学会理事(2010-18年)、東南アジア学会理事(2010-19年)。主な著書に、『多民族国家シンガポールの政治と言語：「消滅」した南洋大学の25年』、『東南アジアと「LGBT」の政治：性的少数者をめぐって何が争われているのか』(編著)など。



コーディネーター／竹中 千春

立教大学元教授
福岡アジア文化賞学術研究賞選考委員会委員長

専門は、国際政治、南アジア研究。明治学院大学教授、立教大学教授を歴任。公益財団法人日印協会理事、一般財団法人NHK財団理事。アジア政経学会理事長(2013-15年)、日本平和学会会長(2020-21年)。主な著書に、『盗賊のインド史—帝国・国家・無法者』、『ガンディー 平和を紡ぐ人』など。



福岡アジア文化賞

アジア地域の優れた文化の振興と相互理解及び平和に貢献するため、1990年に、福岡市及び(公財)福岡よかトピア国際交流財団が創設。アジアの固有かつ多様な文化の保存と創造に顕著な業績を上げた方々を顕彰している。これまでの受賞者は121名を数え、今なお世界中で活躍を続けている。

会場参加・アーカイブ配信

7.18 (火) から受付開始!

申込締切

会場参加: 8.31 (木)

※定員を超えて申込があった場合は抽選となります。

アーカイブ配信: 9.16 (土)

▼お申込みは
コチラ



第33回

FUKUOKA PRIZE 2023

福岡アジア文化賞 市民フォーラム

チャン・リュル from / to FUKUOKA
—作家とまちの縁えにし



芸術・
文化賞

張律 チャン・リュル
ZHANG Lu
(映画監督)

2023.9.13 (水)

映画上映
あり

18:30-21:30

中洲大洋映画劇場

参加無料 (要申込) 通訳あり アーカイブ配信あり

市民フォーラム

通訳あり

参加無料

(要申込)

アーカイブ配信あり

2023.9.13(水) 18:30-21:30 中洲大洋映画劇場

映画上映あり

チャン・リュル from / to FUKUOKA —作家とまちの縁^{えにし}

第1部…映画『福岡』上映 第2部…対談

近年のチャン・リュル監督が撮り続けた『^{がらう}群山：鷺鳥を詠う』『福岡』『柳川』は「福岡三部作」と呼ばれて高い評価を得ています。福岡の何が創作意欲に火を点けたのでしょうか。そして中国・韓国・日本の地方都市を舞台に据えてきたチャン監督にとって「まちとの縁(えにし)」とは。ご本人がたっぷりと語ります。

芸術・文化賞

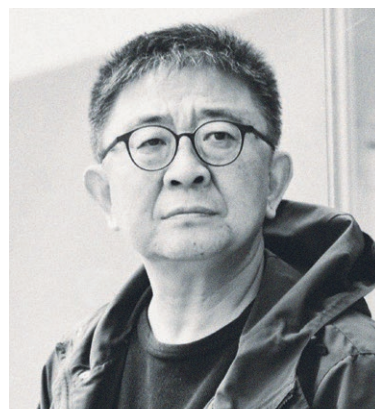
張律^{チャン・リュル}

ZHANG Lu

(映画監督)

国籍・国境を越えた比類なき「東アジア映画」を創り続ける映画監督

アジア各国のスタッフ・キャストと協働しながら中国・韓国・日本の地方都市を舞台に据えて、国籍・国境を越えた独創的な作品を創り続けている。三部作『群山：鷺鳥を詠う』『福岡』『柳川』は、多国籍の映画人が創り上げた全く新しい「東アジア映画」である。その作品世界においても異文化の融和や共生のビジョンを表現し、世界的に高く評価されている。



対談者／石坂 健治

日本映画大学教授・映画学部長

東京国際映画祭シニア・プログラマー

福岡アジア文化賞芸術・文化賞選考委員会委員長

専門はアジア映画。国際交流基金専門員、東京国際映画祭アジア部門のプログラマーを経て現職。主な著書に『アジア映画の森 セロ年代の映画地図』『アジア映画で<世界>を見る 越境する映画、グローバルな文化』『躍動する東南アジア映画 多文化・越境・連帯』など。



連携企画

“福岡三部作”上映

受賞を記念し、作品を上映します!

9.14(木) 18:00 『群山：鷺鳥を詠う』

福岡アジアフィルムフェスティバル

9.16(土) 14:00 『柳川』

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

※いずれも有料。

詳細は、各団体のホームページをご覧ください。

福岡アジア文化賞

アジア地域の優れた文化の振興と相互理解及び平和に貢献するため、1990年に、福岡市及び(公財)福岡よかトピア国際交流財団が創設。アジアの固有かつ多様な文化の保存と創造に顕著な業績を上げた方々を顕彰している。これまでの受賞者は121名を数え、今なお世界中で活躍を続けている。

会場参加・アーカイブ配信

7.18(火)から受付開始!

申込締切

会場参加:8.31(木)

※定員を超えて申込があった場合は抽選となります。

アーカイブ配信:9.16(土)

※映画部分の配信はありません。

▼お申込みは
コチラ

